



# **SMI-S** プロバイダコマンド

## NetApp SMI-S Provider

NetApp  
January 02, 2026

# 目次

SMI-S プロバイダコマンド .....	1
概要 .....	1
SMIS が追加します .....	1
ストレージシステム - エージェントとエージェント - クライアントのプロトコル .....	2
SMIS addsecure .....	3
ストレージシステム - エージェントとエージェント - クライアントのプロトコル .....	4
シモムとう .....	4
SMIS cimserver .....	5
SMIS クラス .....	6
SMIS config show のコマンドです .....	7
SMIS CRP .....	9
SMIS CRSP .....	11
SMIS DELETE .....	12
SMIS ディスク .....	13
SMIS エクスポート .....	14
SMIS イニシエータ .....	15
SMIS ライセンス .....	16
SMIS リスト .....	16
SMIS LUN の場合 .....	17
SMIS ネームスペース .....	18
SMIS プール .....	19
SMIS 更新 .....	19
SMIS slpd .....	20
SMIS バージョン .....	21
SMIS ボリューム .....	21

# SMI-S プロバイダコマンド

## 概要

「SMIS」コマンドを使用して、ストレージシステムを管理したり、CIM オブジェクトマネージャに関する情報を表示したりできます。

ヘルプは '-sis コマンドで '-help' オプションを使用して利用できます

- **SMIS --help`**

コマンドの概要を表示します。

- **\*SMIS --help` の例 \***

使用例を表示します。

- **SMIS --help\_subcommand \_`**

指定したサブコマンドのヘルプを表示します。

SMIS ツールのデフォルトのタイムアウト値は 180 秒です。

## SMIS が追加します

「smis add」コマンドは、HTTP 接続を使用してストレージ・システムを構成に追加し、デバイスの管理および監視を可能にします。必要でない限り、「SMIS add」ではなく「SMIS addsecure」を使用する必要があります。

### 構文

「SMIS add」

```
storage_sys storage_sys_user+[-t { * http * | * https * }]
```



米国以外の言語を使用するオペレーティングシステム英語では 'add' コマンドは使用できません

### 場所

C : \Program Files (x86) \NetApp\SMIS\Pegasus\bin`

### 権限レベル

管理者 (Windows)

### パラメータ

- **'storage\_sys'**

追加するストレージシステムの名前または IP アドレス

IP アドレスを指定する場合は、IPv4 または IPv6 を使用できます。圧縮された IPv6 アドレスと完全な IPv6 アドレスの両方がサポートされています。たとえば、**1001:0002:0000:0000:0003:0003:0004'** または **1001:2:3:4'** です。

- **'storage\_sys\_user'**

追加するストレージシステムを管理する管理者のユーザ名

- **'storage\_sys\_pwd'**

オプション：追加するストレージシステムを管理する管理者のパスワード

セキュリティ上の理由から、このパラメータは使用しないことを推奨します。このパラメータは、自動化および下位互換性のためだけに提供されています。

- **'[-t { http|https}]'**

使用するプロトコル：HTTPS（デフォルト）または HTTP

## ストレージシステム - エージェントとエージェント - クライアントのプロトコル

「smis add」コマンドと「smis addsecure」コマンドは、ストレージシステムとプロバイダの間で使用されるプロトコルを決定します。「[-t { \* http \* | \* https \* } ]」パラメータは、プロバイダーとクライアントの間で使用されるプロトコルを決定します。

「SMIS addsecure」コマンドと「[-t { \* https \* } ]」パラメータは SSL 暗号化を使用して接続しますが、暗号化されていないトラフィックは許可されません。「smis add」コマンドと「[-t { \* http \* } ]」パラメータは SSL 暗号化を使用せずに接続され、暗号化されていないトラフィックは許可されます。

SSL で暗号化された接続を無効にする前に、環境のセキュリティ上の要件を確認してください。

例

IPv4 を使用して、IP アドレス 10.32.1.4 over HTTP でストレージシステムを追加します。

```
smis add 10.32.1.4 user2
```

ストレージシステムが追加されたことを示す確認メッセージが表示されます。エラーが発生した場合は、エラーメッセージが表示されます。

例

IPv6 over HTTP を使用してストレージシステムを追加します。

```
smis add 1001:0002:0000:0000:0000:0000:0003:0004 user2
smis add 1001:2::3:4 user2
```

ストレージシステムが追加されたことを示す確認メッセージが表示されます。エラーが発生した場合は、エラーメッセージが表示されます。

例

英語以外のシステムで HTTP 経由の IP アドレスが 10.32.1.4 のストレージシステムを追加します。

```
cimcli -n root/ontap ci ontap_filerdata hostname="10.32.1.4"  
username="vsadmin" password="PasSw0Rd" port=80 comMechanism="HTTP"  
--timeout 180
```

## SMIS addsecure

「SMIS addsecure」コマンドを使用すると、HTTPS 接続を備えたストレージシステムを構成に追加して、デバイスの管理と監視を行うことができます。必要でない限り、「SMIS add」ではなく「SMIS addsecure」を使用する必要があります。

構文

「SMIS addsecure」

```
storage_sys storage_sys_user+[-t { * http * | * https * }]
```



米国以外の言語を使用するオペレーティングシステム英語では 'addsecure' コマンドは使用できません

場所

C : \Program Files (x86) \NetApp\SMIS\Pegasus\bin`

権限レベル

管理者 (Windows)

パラメータ

- '**storage\_sys**'

追加するストレージシステムの名前または IP アドレス

IP アドレスを指定する場合は、IPv4 または IPv6 を使用できます。圧縮された IPv6 アドレスと完全な IPv6 アドレスの両方がサポートされていますたとえば '1001:0002:0000:0000:0003:0004' または '1001:2:3:4' です

- '**storage\_sys\_user**'

追加するストレージシステムを管理する管理者のユーザ名

- '**storage\_sys\_pwd**'

オプション：追加するストレージシステムを管理する管理者のパスワード

セキュリティ上の理由から、このパラメータは使用しないことを推奨します。このパラメータは、自動化および下位互換性のためだけに提供されています。

- '**[-t { http|https}]**'

使用するプロトコル：HTTPS（デフォルト）または HTTP

## ストレージシステム - エージェントとエージェント - クライアントのプロトコル

「smis add」コマンドと「smis addsecure」コマンドは、ストレージシステムとプロバイダの間で使用されるプロトコルを決定します。「[-t { \* http \* | \* https \* } ]」パラメータは、プロバイダーとクライアントの間で使用されるプロトコルを決定します。

「SMIS addsecure」コマンドと「[-t { \* https \* } ]」パラメータは SSL 暗号化を使用して接続しますが、暗号化されていないトラフィックは許可されません。「smis add」コマンドと「[-t { \* http \* } ]」パラメータは SSL 暗号化を使用せずに接続され、暗号化されていないトラフィックは許可されます。

SSL で暗号化された接続を無効にする前に、環境のセキュリティ上の要件を確認してください。

例

IPv4 を使用して、IP アドレス 10.32.1.4 over HTTPS のストレージシステムを追加します。

```
smis addsecure 10.32.1.4 user2 password2
```

ストレージシステムが追加されたことを示す確認メッセージが表示されます。エラーが発生した場合は、エラーメッセージが表示されます。

例

IPv6 over HTTPS を使用してストレージシステムを追加します。

```
smis addsecure 1001:0002:0000:0000:0000:0000:0003:0004 user2 password2
smis addsecure 1001:2::3:4 user2 password2
```

ストレージシステムが追加されたことを示す確認メッセージが表示されます。エラーが発生した場合は、エラーメッセージが表示されます。

例

英語以外のシステムで、IP アドレスが 10.32.1.4 の HTTPS を使用してストレージシステムを追加する：

```
cimcli -n root/ontap ci ontap_filerdata hostname="10.32.1.4"
username="vsadmin" password="PasSw0Rd" port=443 comMechanism="HTTPS"
--timeout 180
```

## シモムとう

「SMIS CIMOM」コマンドは、CIM オブジェクトマネージャについて説明します。

構文

```
SMIS CIMOM [-t { * http * | * https * } ]
```

場所

C : \Program Files (x86) \NetApp\SMIS\Pegasus\bin`

権限レベル

有効なユーザ名とパスワードを持つユーザ

パラメータ

• `[-t { http|https}]``

使用するプロトコル：HTTPS（デフォルト）または HTTP

例

「SMIS CIMOM」コマンドとその出力は次のとおりです。

```
smis cimom
PG_ObjectManager.CreationClassName="PG_ObjectManager",
Name="PG:1297121114307-10-229-89-243",
SystemCreationClassName="PG_ComputerSystem",SystemName="10.1.2.3"
```

## SMIS cimserver

「smis cimserver」コマンドは、CIM サーバの起動、停止、再起動、またはステータスの取得を行います。

構文

「SMIS cimserver」と入力します

`{start|stop|restart|status}``

場所

C : \Program Files (x86) \NetApp\SMIS\Pegasus\bin`

権限レベル

管理者 (Windows)

パラメータ

• \* スタート \*

CIM サーバを起動します。

• \* 停止 \*

CIM サーバを停止します。

• \* 再起動 \*

CIM サーバを再起動します。

- \* ステータス \*

CIM サーバのステータスを取得します。

## SMIS クラス

「smis class」コマンドは、指定されたクラスまたはすべてのクラスに関する情報をリストします。

構文

「SMIS クラス」

```
`name_space{* Niall*|{* e*|ni|gi|gc}_class_name_}[-t { * http * |https}]
```

場所

C : \Program Files (x86) \NetApp\SMIS\Pegasus\bin`

権限レベル

有効なユーザ名とパスワードを持つユーザ

パラメータ

- '**name\_space**'

CIMOM がサポートするネームスペース

- \* ニオール \*

すべてのインスタンス名を列挙します

- \* EI \*

クラスのインスタンスを列挙します

- \* ni \*

クラスのインスタンス名を列挙します

- \* gi \*

クラスのインスタンスを取得します

- \* gc\*

クラス名のクラスを取得します

- '**class\_name**'

情報を表示するクラスの名前

- '[-t { http|https}]'

使用するプロトコル：HTTPS（デフォルト）またはHTTP

例

「smis class」コマンドとその省略された出力は次のとおりです。

```
smis class root/ontap gi CIM_StorageVolume
1:
ONTAP_StorageVolume.CreationClassName="ONTAP_StorageVolume",DeviceID="P3Lf
GJdC-
mN5",SystemCreationClassName="ONTAP_StorageSystem",SystemName="ONTAP:01350
27815"
2:
ONTAP_StorageVolume.CreationClassName="ONTAP_StorageVolume",DeviceID="P3Lf
GJcmzphT",SystemCreationClassName="ONTAP_StorageSystem",SystemName="ONTAP:
0135027815"
3:
ONTAP_StorageVolume.CreationClassName="ONTAP_StorageVolume",DeviceID="P3Lf
GJc30t26",SystemCreationClassName="ONTAP_StorageSystem",SystemName="ONTAP:
0135027815"
4:
ONTAP_StorageVolume.CreationClassName="ONTAP_StorageVolume",DeviceID="P3Lf
GJcSgbiT",SystemCreationClassName="ONTAP_StorageSystem",SystemName="ONTAP:
0135027815"
5:
ONTAP_StorageVolume.CreationClassName="ONTAP_StorageVolume",DeviceID="P3Lf
GJcSgrA9",SystemCreationClassName="ONTAP_StorageSystem",SystemName="ONTAP:
0135027815"
```

## SMIS config show のコマンドです

「smis config show」コマンドは、現在の CIM サーバの設定情報を一覧表示します。

構文

「SMIS config show」

場所

C : \Program Files (x86) \NetApp\SMIS\Pegasus\bin`

権限レベル

管理者 (Windows)

例

「smis config show」とその出力は次のとおりです。

```
smis config show
slp:
Current value: true

tracelevel:
Current value: 4

traceComponents:
Current value: XmlIO,Thread, IndicationGeneration, DiscardedData,
CMPIProvider, LogMessages, ProviderManager, SSL, Authentication,
Authorization

traceFilePath:
Current value: traces/cimserver.trc

enableAuditLog:
Current value: true

logLevel:
Current value: WARNING

sslKeyFilePath:
Current value: cimom.key

sslCertificateFilePath:
Current value: cimom.cert

passwordFilePath:
Current value: cimserver.passwd

enableHttpConnection:
Current value: true

enableHttpsConnection:
Current value: true

httpPort:
Current value: 5988

httpsPort:
Current value: 5989

enableAuthentication:
Current value: true
```

# SMIS CRP

「SMIS CRP」コマンドは、NetApp SMI-S Provider プロファイルを含む NetApp SMI-S Provider でサポートされる CIM 登録プロファイルについて説明します。

構文

SMIS CRP

「[-t { \* http \* | \* https \* } ]」

場所

C : \Program Files (x86) \NetApp\SMIS\Pegasus\bin\

権限レベル

有効なユーザ名とパスワードを持つユーザ

パラメータ

• [-t { http|https}]

使用するプロトコル：HTTPS（デフォルト）または HTTP

例

'SMIS CRP' コマンドとその出力：

```
smis crp

PG_RegisteredProfile.InstanceID="SNIA:Profile Registration:1.4.0"
PG_RegisteredProfile.InstanceID="SNIA:SMI-S:1.4.0"
PG_RegisteredProfile.InstanceID="SNIA:SMI-S:1.5.0"
PG_RegisteredProfile.InstanceID="SNIA:SMI-S:1.6.0"
PG_RegisteredProfile.InstanceID="SNIA:Server:1.4.0"
PG_RegisteredProfile.InstanceID="SNIA:Server:1.5.0"
PG_RegisteredProfile.InstanceID="SNIA:Server:1.6.0"
PG_RegisteredProfile.InstanceID="DMTF:Profile Registration:1.4.0"
PG_RegisteredProfile.InstanceID="DMTF:Indications:1.4.0"
PG_RegisteredSubProfile.InstanceID="SNIA:Indication:1.4.0"
PG_RegisteredSubProfile.InstanceID="SNIA:Indication:1.5.0"
PG_RegisteredSubProfile.InstanceID="SNIA:Indication:1.6.0"
PG_RegisteredSubProfile.InstanceID="SNIA:Software:1.4.0"
PG_RegisteredSubProfile.InstanceID="SNIA:Software:1.5.0"
PG_RegisteredSubProfile.InstanceID="SNIA:Software:1.6.0"
PG_RegisteredSubProfile.InstanceID="SNIA:Object Manager Adapter:1.3.0"
ONTAP_RegisteredSubProfile.InstanceID="ONTAP:iSCSI Target Ports:1.6.0"
ONTAP_RegisteredSubProfile.InstanceID="ONTAP:iSCSI Target Ports:1.2.0"
ONTAP_RegisteredSubProfile.InstanceID="ONTAP:Software:1.4.0"
ONTAP_RegisteredSubProfile.InstanceID="ONTAP:Disk Drive Lite:1.6.0"
```

ONTAP\_RegisteredSubProfile.InstanceID="ONTAP:Disk Drive Lite:1.5.0"  
ONTAP\_RegisteredSubProfile.InstanceID="ONTAP:Disk Drive Lite:1.4.0"  
ONTAP\_RegisteredSubProfile.InstanceID="ONTAP:Multiple Computer  
System:1.2.0"  
ONTAP\_RegisteredSubProfile.InstanceID="ONTAP:Access Points:1.3.0"  
ONTAP\_RegisteredSubProfile.InstanceID="ONTAP:FC Target Port:1.4.0"  
ONTAP\_RegisteredSubProfile.InstanceID="ONTAP:FC Initiator Ports:1.6.0"  
ONTAP\_RegisteredSubProfile.InstanceID="ONTAP:FC Initiator Ports:1.4.0"  
ONTAP\_RegisteredSubProfile.InstanceID="ONTAP:FC Initiator Ports:1.3.0"  
ONTAP\_RegisteredSubProfile.InstanceID="ONTAP:Masking and Mapping:1.6.0"  
ONTAP\_RegisteredSubProfile.InstanceID="ONTAP:Masking and Mapping:1.4.0"  
ONTAP\_RegisteredSubProfile.InstanceID="ONTAP:Extent Composition:1.6.0"  
ONTAP\_RegisteredSubProfile.InstanceID="ONTAP:Extent Composition:1.5.0"  
ONTAP\_RegisteredSubProfile.InstanceID="ONTAP:Extent Composition:1.2.0"  
ONTAP\_RegisteredSubProfile.InstanceID="ONTAP:Block Server  
Performance:1.5.0"  
ONTAP\_RegisteredSubProfile.InstanceID="ONTAP:Block Server  
Performance:1.4.0"  
ONTAP\_RegisteredSubProfile.InstanceID="ONTAP:Physical Package:1.5.0"  
ONTAP\_RegisteredSubProfile.InstanceID="ONTAP:Physical Package:1.3.0"  
ONTAP\_RegisteredSubProfile.InstanceID="ONTAP:Block Services:1.6.0"  
ONTAP\_RegisteredSubProfile.InstanceID="ONTAP:Block Services:1.5.0"  
ONTAP\_RegisteredSubProfile.InstanceID="ONTAP:Block Services:1.4.0"  
ONTAP\_RegisteredSubProfile.InstanceID="ONTAP:Health:1.2.0"  
ONTAP\_RegisteredSubProfile.InstanceID="ONTAP:FileSystem:1.4.0"  
ONTAP\_RegisteredSubProfile.InstanceID="ONTAP:File Storage:1.4.0"  
ONTAP\_RegisteredSubProfile.InstanceID="ONTAP:File Export:1.4.0"  
ONTAP\_RegisteredSubProfile.InstanceID="ONTAP:File Export  
Manipulation:1.6.0"  
ONTAP\_RegisteredSubProfile.InstanceID="ONTAP:File Export  
Manipulation:1.4.0"  
ONTAP\_RegisteredSubProfile.InstanceID="ONTAP:File System  
Manipulation:1.6.0"  
ONTAP\_RegisteredSubProfile.InstanceID="ONTAP:Filesystem  
Manipulation:1.4.0"  
ONTAP\_RegisteredSubProfile.InstanceID="ONTAP:File Server  
Manipulation:1.4.0"  
ONTAP\_RegisteredSubProfile.InstanceID="ONTAP:FileSystem Quotas:1.4.0"  
ONTAP\_RegisteredSubProfile.InstanceID="ONTAP:Job Control:1.5.0"  
ONTAP\_RegisteredSubProfile.InstanceID="ONTAP:Job Control:1.3.0"  
ONTAP\_RegisteredSubProfile.InstanceID="ONTAP:Location:1.4.0"  
ONTAP\_RegisteredSubProfile.InstanceID="ONTAP:NAS Network Port:1.4.0"  
ONTAP\_RegisteredSubProfile.InstanceID="ONTAP:Replication Services:1.5.0"  
ONTAP\_RegisteredSubProfile.InstanceID="ONTAP:Replication Services:1.6.0"  
ONTAP\_RegisteredSubProfile.InstanceID="ONTAP:Capacity Utilization:1.4.0"

# SMIS CRSP

「SMIS CRSP」 コマンドは、NetApp SMI-S Provider サブプロファイルを含む NetApp SMI-S Provider でサポートされる CIM 登録サブプロファイルについて説明します。

構文

SMIS CRSP

```
「[-t { * http * | * https * } ]」
```

場所

C : \Program Files (x86) \NetApp\SMIS\Pegasus\bin\

権限レベル

有効なユーザ名とパスワードを持つユーザ

パラメータ

- '[-t { http|https}]'

使用するプロトコル：HTTPS（デフォルト）または HTTP

例

'SMIS CRSP' コマンドとその省略形の出力：

```
smis crsp

PG_RegisteredSubProfile.InstanceID="SNIA:Indication:1.4.0"
PG_RegisteredSubProfile.InstanceID="SNIA:Indication:1.5.0"
PG_RegisteredSubProfile.InstanceID="SNIA:Indication:1.6.0"
PG_RegisteredSubProfile.InstanceID="SNIA:Software:1.4.0"
PG_RegisteredSubProfile.InstanceID="SNIA:Software:1.5.0"
PG_RegisteredSubProfile.InstanceID="SNIA:Software:1.6.0"
PG_RegisteredSubProfile.InstanceID="SNIA:Object Manager Adapter:1.3.0"
ONTAP_RegisteredSubProfile.InstanceID="ONTAP:iSCSI Target Ports:1.6.0"
ONTAP_RegisteredSubProfile.InstanceID="ONTAP:iSCSI Target Ports:1.2.0"
ONTAP_RegisteredSubProfile.InstanceID="ONTAP:Software:1.4.0"
ONTAP_RegisteredSubProfile.InstanceID="ONTAP:Disk Drive Lite:1.6.0"
ONTAP_RegisteredSubProfile.InstanceID="ONTAP:Disk Drive Lite:1.5.0"
ONTAP_RegisteredSubProfile.InstanceID="ONTAP:Disk Drive Lite:1.4.0"
ONTAP_RegisteredSubProfile.InstanceID="ONTAP:Multiple Computer
System:1.2.0"
ONTAP_RegisteredSubProfile.InstanceID="ONTAP:Access Points:1.3.0"
ONTAP_RegisteredSubProfile.InstanceID="ONTAP:FC Target Port:1.4.0"
ONTAP_RegisteredSubProfile.InstanceID="ONTAP:FC Initiator Ports:1.6.0"
ONTAP_RegisteredSubProfile.InstanceID="ONTAP:FC Initiator Ports:1.4.0"
ONTAP_RegisteredSubProfile.InstanceID="ONTAP:FC Initiator Ports:1.3.0"
```

```
ONTAP_RegisteredSubProfile.InstanceID="ONTAP:Masking and Mapping:1.6.0"
ONTAP_RegisteredSubProfile.InstanceID="ONTAP:Masking and Mapping:1.4.0"
ONTAP_RegisteredSubProfile.InstanceID="ONTAP:Extent Composition:1.6.0"
ONTAP_RegisteredSubProfile.InstanceID="ONTAP:Extent Composition:1.5.0"
ONTAP_RegisteredSubProfile.InstanceID="ONTAP:Extent Composition:1.2.0"
ONTAP_RegisteredSubProfile.InstanceID="ONTAP:Block Server
Performance:1.5.0"
ONTAP_RegisteredSubProfile.InstanceID="ONTAP:Block Server
Performance:1.4.0"
ONTAP_RegisteredSubProfile.InstanceID="ONTAP:Physical Package:1.5.0"
ONTAP_RegisteredSubProfile.InstanceID="ONTAP:Physical Package:1.3.0"
ONTAP_RegisteredSubProfile.InstanceID="ONTAP:Block Services:1.6.0"
ONTAP_RegisteredSubProfile.InstanceID="ONTAP:Block Services:1.5.0"
ONTAP_RegisteredSubProfile.InstanceID="ONTAP:Block Services:1.4.0"
ONTAP_RegisteredSubProfile.InstanceID="ONTAP:Health:1.2.0"
ONTAP_RegisteredSubProfile.InstanceID="ONTAP:FileSystem:1.4.0"
ONTAP_RegisteredSubProfile.InstanceID="ONTAP:File Storage:1.4.0"
ONTAP_RegisteredSubProfile.InstanceID="ONTAP:File Export:1.4.0"
ONTAP_RegisteredSubProfile.InstanceID="ONTAP:File Export
Manipulation:1.6.0"
ONTAP_RegisteredSubProfile.InstanceID="ONTAP:File Export
Manipulation:1.4.0"
ONTAP_RegisteredSubProfile.InstanceID="ONTAP:File System
Manipulation:1.6.0"
ONTAP_RegisteredSubProfile.InstanceID="ONTAP:Filesystem
Manipulation:1.4.0"
ONTAP_RegisteredSubProfile.InstanceID="ONTAP:File Server
Manipulation:1.4.0"
ONTAP_RegisteredSubProfile.InstanceID="ONTAP:FileSystem Quotas:1.4.0"
ONTAP_RegisteredSubProfile.InstanceID="ONTAP:Job Control:1.5.0"
ONTAP_RegisteredSubProfile.InstanceID="ONTAP:Job Control:1.3.0"
ONTAP_RegisteredSubProfile.InstanceID="ONTAP:Location:1.4.0"
ONTAP_RegisteredSubProfile.InstanceID="ONTAP:NAS Network Port:1.4.0"
ONTAP_RegisteredSubProfile.InstanceID="ONTAP:Replication Services:1.5.0"
ONTAP_RegisteredSubProfile.InstanceID="ONTAP:Replication Services:1.6.0"
ONTAP_RegisteredSubProfile.InstanceID="ONTAP:Capacity Utilization:1.4.0"
```

## SMIS DELETE

「 smis delete 」 コマンドは、ストレージ・システムを削除します。

構文

「 SMIS DELETE 」

*storage\_sys*

「[-t { \* http \* | \* https \* } ]」

場所

C : \Program Files (x86) \NetApp\SMIS\Pegasus\bin`

権限レベル

管理者 (Windows)

パラメータ

- **'storage\_sys'**

追加するストレージシステムの名前または IP アドレス

- **'[-t { http|https}]'**

使用するプロトコル: HTTPS (デフォルト) または HTTP

例

mgt-1 というラベルのストレージシステムを削除します。

```
*SMIS DELETE mgt-1 *
```

エラーメッセージが表示されない場合は、ストレージシステムが削除されています。

## SMIS ディスク

`smis disks` コマンドは、ストレージシステムのディスク情報を表示します。コマンドは `smis disks`、ONTAP 7-Mode コントローラでのみサポートされます。

構文

SMIS ディスク

「[-t { \* http \* | \* https \* } ]」

場所

C : \Program Files (x86) \NetApp\SMIS\Pegasus\bin`

権限レベル

有効なユーザ名とパスワードを持つユーザ

パラメータ

- **'[-t { http|https}]'**

使用するプロトコル: HTTPS (デフォルト) または HTTP

例

「smis disks」コマンドとその省略形の出力は次のとおりです。

```
smis disks
ONTAP_DiskExtent.CreationClassName="ONTAP_DiskExtent",DeviceID="0c.00.3",SystemCreationClassName="ONTAP_StorageSystem",SystemName="ONTAP:0135027815"
ONTAP_DiskExtent.CreationClassName="ONTAP_DiskExtent",DeviceID="0c.00.5",SystemCreationClassName="ONTAP_StorageSystem",SystemName="ONTAP:0135027815"
ONTAP_DiskExtent.CreationClassName="ONTAP_DiskExtent",DeviceID="0c.00.7",SystemCreationClassName="ONTAP_StorageSystem",SystemName="ONTAP:0135027815"
ONTAP_DiskExtent.CreationClassName="ONTAP_DiskExtent",DeviceID="0c.00.6",SystemCreationClassName="ONTAP_StorageSystem",SystemName="ONTAP:0135027815"
ONTAP_DiskExtent.CreationClassName="ONTAP_DiskExtent",DeviceID="0c.00.1",SystemCreationClassName="ONTAP_StorageSystem",SystemName="ONTAP:0135027815"
ONTAP_DiskExtent.CreationClassName="ONTAP_DiskExtent",DeviceID="0c.00.8",SystemCreationClassName="ONTAP_StorageSystem",SystemName="ONTAP:0135027815"
```

## SMIS エクスポート

「SMIS exports」コマンドは、ストレージシステムの NAS（Network Attached Storage）エクスポートを表示します。

構文

SMIS は `[-t { * http * | * https * } ]` をエクスポートします

場所

C : \Program Files (x86) \NetApp\SMIS\Pegasus\bin`

権限レベル

有効なユーザ名とパスワードを持つユーザ

パラメータ

- `[-t { http|https}]``

使用するプロトコル：HTTPS（デフォルト）または HTTP

例

「SMIS exports」コマンドとその出力：

```
smis exports
ONTAP_LogicalFile.CreationClassName="ONTAP_LogicalFile",CSCreationClassNam
e="ONTAP_StorageSystem",CSName="ONTAP:68f6b3c0-923a-11e2-a856-
123478563412",FSCreationClassName="ONTAP_LocalFS",FSName="/vol/NAS_vol/Tes
tCFS0528",Name="/vol/NAS_vol/TestCFS0528"
ONTAP_Qtree.CreationClassName="ONTAP_Qtree",CSCreationClassName="ONTAP_Sto
rageSystem",CSName="ONTAP:68f6b3c0-923a-11e2-a856-
123478563412",FSCreationClassName="ONTAP_LocalFS",FSName="nilesh_vserver_r
ootvol",Id="nilesh_vserver_rootvol:0",Name=""
ONTAP_Qtree.CreationClassName="ONTAP_Qtree",CSCreationClassName="ONTAP_Sto
rageSystem",CSName="ONTAP:68f6b3c0-923a-11e2-a856-
123478563412",FSCreationClassName="ONTAP_LocalFS",FSName="NAS_vol",Id="NAS
_vol:0",Name=""
ONTAP_Qtree.CreationClassName="ONTAP_Qtree",CSCreationClassName="ONTAP_Sto
rageSystem",CSName="ONTAP:68f6b3c0-923a-11e2-a856-
123478563412",FSCreationClassName="ONTAP_LocalFS",FSName="NAS_vol",Id="NAS
_vol:1",Name=""
```

## SMIS イニシエータ

「smis initiators」コマンドは、ストレージ・システムのファイバ・チャネルおよび iSCSI ポート情報を表示します。

構文

SMIS イニシエータ

「[-t { \* http \* | \* https \* } ]」

場所

C : \Program Files (x86) \NetApp\SMIS\Pegasus\bin`

権限レベル

有効なユーザ名とパスワードを持つユーザ

パラメータ

• '-t { http|https }'

使用するプロトコル： HTTPS（デフォルト）または HTTP

例

「smis initiators」コマンドとその省略形の出力は、次のようになります。

```
smis initiators
ONTAP_StorageHardwareID.InstanceID="ONTAP:0084259609:iqn.1991-
05.com.microsoft:sf-tpc1"
ONTAP_StorageHardwareID.InstanceID="ONTAP:0084259609:21:00:00:e0:8b:86:f2:
89"
ONTAP_StorageHardwareID.InstanceID="ONTAP:0084259609:iqn.1991-
05.com.microsoft:went2k3x32-01"
```

## SMIS ライセンス

「SMIS licensed」コマンドは、ストレージ・システムのライセンス機能を一覧表示します。

構文

SMIS ライセンス

```
「[-t { * http * | * https * } ]」
```

場所

C : \Program Files (x86) \NetApp\SMIS\Pegasus\bin`

権限レベル

有効なユーザ名とパスワードを持つユーザ

パラメータ

- '[-t { http|https}]'

使用するプロトコル：HTTPS（デフォルト）または HTTP

例

「SMIS licensed」コマンドとその省略された出力は次のとおりです。

```
smis licensed
ONTAP_SoftwareIdentity.InstanceID="ONTAP:0084259609:cifs"
ONTAP_SoftwareIdentity.InstanceID="ONTAP:0084259609:cluster"
ONTAP_SoftwareIdentity.InstanceID="ONTAP:0084259609:fc"
ONTAP_SoftwareIdentity.InstanceID="ONTAP:0084259609:iscsi"
ONTAP_SoftwareIdentity.InstanceID="ONTAP:0084259609:nfs"
```

## SMIS リスト

「smis list」コマンドは、追加されたストレージ・システムを表示します。

構文

SMIS リスト

「[-t { \* http \* | \* https \* } ]」

場所

C : \Program Files (x86) \NetApp\SMIS\Pegasus\bin`

権限レベル

有効なユーザ名とパスワードを持つユーザ

パラメータ

• '[-t { http|https}]`

使用するプロトコル： HTTPS（デフォルト）または HTTP

例

「smis list」コマンドとその出力は次のとおりです。

```
smis list
ONTAP_FilerData.hostName="10.16.180.122",port=80
```

## SMIS LUN の場合

「smis LUNs」コマンドは、ストレージ・システムの LUN 情報を表示します。

構文

SMIS LUN の場合

「[-t { \* http \* | \* https \* } ]」

場所

C : \Program Files (x86) \NetApp\SMIS\Pegasus\bin`

権限レベル

有効なユーザ名とパスワードを持つユーザ

パラメータ

• '[-t { http|https}]`

使用するプロトコル： HTTPS（デフォルト）または HTTP

例

'SMIS LUN' コマンドとその省略形の出力：

```
smis luns
ONTAP_StorageVolume.CreationClassName="ONTAP_StorageVolume",DeviceID
="ef805c0d-5269-47c6-ba0fd9cdbf5e2515",
SystemCreationClassName="ONTAP_StorageSystem",SystemName="ONTAP:68f6b3c0-923a-11e2-a856-123478563412"
ONTAP_StorageVolume.CreationClassName="ONTAP_StorageVolume",DeviceID
="f81cb3bf-2f16-467c-8e30-88bae415ab05",SystemCreationClassName="ONT
AP_StorageSystem",SystemName="ONTAP:68f6b3c0-923a-11e2-
a856-123478563412"
ONTAP_StorageVolume.CreationClassName="ONTAP_StorageVolume",DeviceID
="684f5fb9-0fdd-4b97-8678-188774bdcd0",SystemCreationClassName="ONT
AP_StorageSystem",SystemName="ONTAP:68f6b3c0-923a-11e2-
a856-123478563412"
```

## SMIS ネームスペース

「smis Namespaces」コマンドは、CIMOM の登録済み名前スペースをリストします。

構文

SMIS ネームスペース

「[-t { \* http \* | \* https \* } ]」

場所

C : \Program Files (x86) \NetApp\SMIS\Pegasus\bin`

- Windows : C : \Program Files (x86) \NetApp\SMIS\Pegasus\bin`

権限レベル

有効なユーザ名とパスワードを持つユーザ

パラメータ

- '-t { http|https }`

使用するプロトコル：HTTPS（デフォルト）または HTTP

例

「smis Namespaces」コマンドとその省略形の出力：

```
smis namespaces
interop
root/ontap
```

## SMIS プール

「smis pools」コマンドは、ストレージ・システムのストレージ・プールをリストします。

構文

「SMIS プール」

「[-t { \* http \* | \* https \* } ]」

場所

C : \Program Files (x86) \NetApp\SMIS\Pegasus\bin`

権限レベル

有効なユーザ名とパスワードを持つユーザ

パラメータ

• '[-t { http|https}]'

使用するプロトコル：HTTPS（デフォルト）または HTTP

例

「SMIS プール」コマンドとその省略形の出力：

```
smis pools
ONTAP_ConcretePool.InstanceID="ONTAP:0084259609:d46de7f0-3925-11df-8516-00a0980558ea"
ONTAP_ConcretePool.InstanceID="ONTAP:0084259609:51927ab0-28b5-11df-92b2-00a0980558ea"
ONTAP_DiskPrimordialPool.InstanceID="ONTAP:0084259609:Spare"
ONTAP_DiskPrimordialPool.InstanceID="ONTAP:0084259609:Other"
ONTAP_DiskPrimordialPool.InstanceID="ONTAP:0084259609:Present"
```

## SMIS 更新

デフォルトでは、SMI-S Provider は 60 分（3、600 秒）ごとにストレージシステムから情報を自動的に取得します。特定のストレージ・システムを手動で更新するには 'SMIS refresh コマンド' を使用します

構文

「SMISE\_RESIST\_SYSTEM\_IP\_」と入力します

「[-t { \* http \* | \* https \* } ]」

場所

C : \Program Files ( x86 ) \NetApp\SMIS\Pegasus\bin`

権限レベル

有効なユーザ名とパスワードを持つユーザ

パラメータ

- '**storage\_system\_IP**'

特定のストレージ・システムを更新します。

- '**[-t { http|https}]**'

使用するプロトコル： HTTPS（デフォルト）または HTTP

例

「 smis refresh 」 コマンドとその出力は次のとおりです。

```
smis refresh 10.32.1.4
Return Value= 0
```

## SMIS slpd

'SMIS slpd' コマンドは 'SLP デーモンを開始または停止します

構文

「 SMIS slpd 」 と入力します

'**{start|stop}**'

場所

C : \Program Files ( x86 ) \NetApp\SMIS\Pegasus\bin`

権限レベル

管理者（ Windows ）

例

SLP デーモンを開始します。

```
smis slpd start
SLPD started.
```

SLP デーモンを停止します。

```
smis slpd stop
SLPD (15564) was successfully stopped.
```

## SMIS バージョン

「smis version」コマンドは、NetApp SMI-S Provider のバージョンを表示します。

構文

「SMIS バージョン」

「[-t { \* http \* | \* https \* } ]」

場所

C : \Program Files (x86) \NetApp\SMIS\Pegasus\bin`

権限レベル

有効なユーザ名とパスワードを持つユーザ

パラメータ

• '[-t { http|https}]`

使用するプロトコル：HTTPS（デフォルト）または HTTP

例

「SMIS version」コマンドとその出力は次のとおりです。

```
smis version
ONTAP_SMIAgentSoftware.InstanceID="ONTAP5.2.2"
```

## SMIS ボリューム

「smis volumes」コマンドは、ストレージ・システムのトラディショナル・ボリュームとフレキシブル・ボリュームを一覧表示します。

構文

「SMIS VOLUMES」

「[-t { \* http \* | \* https \* } ]」



ONTAPの場合は、コマンドではなくコマンドを `smis volumes`` 使用する必要があります  
``smis pools。`

場所

C : \Program Files ( x86 ) \NetApp\SMIS\Pegasus\bin`

権限レベル

有効なユーザ名とパスワードを持つユーザ

パラメータ

- `[-t { http|https}]`

使用するプロトコル： HTTPS（デフォルト）または HTTP

例

「SMIS VOLUMES」コマンドとその省略形の出力は、次のようになります。

```
smis volumes
ONTAP_LogicalDisk.CreationClassName="ONTAP_LogicalDisk",DeviceID="d46de7f0
-3925-
11df-8516-
00a0980558ea",SystemCreationClassName="ONTAP_StorageSystem",SystemName
="ONTAP:0084259609"
ONTAP_LogicalDisk.CreationClassName="ONTAP_LogicalDisk",DeviceID="397cd140
-3a45-
11df-8516-
00a0980558ea",SystemCreationClassName="ONTAP_StorageSystem",SystemName
="ONTAP:0084259609"
ONTAP_LogicalDisk.CreationClassName="ONTAP_LogicalDisk",DeviceID="69c472c0
-4b27-
11df-8517-
00a0980558ea",SystemCreationClassName="ONTAP_StorageSystem",SystemName
="ONTAP:0084259609"
ONTAP_LogicalDisk.CreationClassName="ONTAP_LogicalDisk",DeviceID="6c7ea0b0
-3927-
11df-8516-
00a0980558ea",SystemCreationClassName="ONTAP_StorageSystem",SystemName
="ONTAP:0084259609"
```

## 著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

## 商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。